

学校だより 雄飛

佐倉市立西志津中学校 第4号 令和7年7月1日(火)
『自他を認め 進んで考え挑戦し 未来を拓く生徒の育成』
～自己指導能力とWell-beingの涵養～
挑戦(Challenge)・認め合い(Respect)・粘り強さ(Resilience)

生徒数 1年 118名 2年 130名 3年 152名 計 400名

〒285-0845 佐倉市西志津4-18-1 043-462-1161

◇『脚下照顧』◇

校長

6月11日(水)と12日(木)に、今年度初めての定期テストを実施しました。1年生にとっては初めての経験、2年生は新しい始まり、3年生はこれから控えている進路決定、それぞれの立場で期待と不安が入り交じる気持ちで取り組み、結果に一喜一憂だったことと思います。このことは、私たち大人が全員経験して、通過してきた過程です。しかし、あの頃先生にしてほしかったこと、親にしてほしかったこと、仲間にかけてほしかったことばは、いったい何だったかが思い出せません。しっかり記憶していれば、より良い言葉かけ、前に進む力をあげられるのかもしれないと思うと残念でなりません。定期テストについて、2023年ベネッセ教育総合研究所の調査では、中学校の22.9%、高校の13.3%が定期テストを廃止、もしくは実施回数を減らし、単元テストの実施回数について検討しているというデータがあります。名称、実施回数、出題範囲など違いはあるけれど、テストを実施する目的は同じです。公立高等学校入学者選抜が内定者を決めるために行われることの関連で、定期テストは評定をつけるためだけに実施していると受け取られがちです。確かに評定の1つの材料ですが、これまでに身につけるべき学習内容が、どれだけ定着しているかを、生徒と教職員が共に確認することが目的です。テストの結果で何かを決めつけたり、価値を決めつけたりすることなく、『できないことができるようになる』ために、「いつまでに」「何を」「どのように」取り組むかについて、保護者と生徒と先生で考える大切な機会としてほしいです。

2007年10月18日放送 3年B組金ハ先生第8シリーズ2話「赤い私服の転校生」にこんなシーンがありました。

美術科の立花先生は、美術の授業で自画像を描かせて自分を見つめさせることを思いつく。出来上がった絵はどこか違う顔だと生徒たちが口を揃えると、金ハ先生は「人間は自分の目で自分の顔を見ることができない。本当の顔をよく知っているのは自分以外の人、特に親だ」と言う。

ドラマのとおり、人はみな自分の顔を自分の目では見ることができません。だから鏡を見るのですが、鏡はいつも左右が逆に映ります。顔だけではなく、自分のほとんどのことは自分が一番わかっていないのかもしれませんとすら思います。そうであれば、自分の思いを言葉で正しく相手に伝えること、相手のことばを素直に受け止めること、受け止めた言葉から目当てを持ち粘り強く挑戦し続けることが、幸せな大人になるカギの1つなのではないかと考えます。もう1つのカギは、いつも『理由を考えること』だと思います。

○1万部しか売れていないけどどんでも面白いマンガと、100万部売れているけどありきたりなマンガ、どちらを担当したいですか?【講談社】

○フライパンを買いに来るお客さまに、子ども靴を買ってもらうために、あなたならどうしますか?【小田急百貨店】

○人生の大きな挫折をブログに書く場合、そのブログのタイトルを考えてください。【サイバーエージェント社】

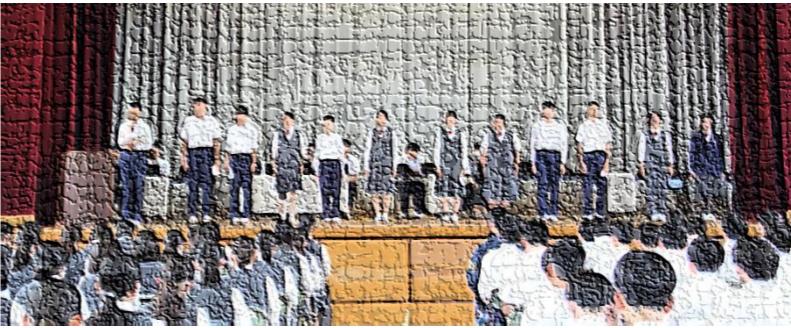
○マンホールのふたが四角ではなく、丸いのはなぜか。【マイクロソフト社】

○ハワイ島の重量をはかる方法を答えなさい。【YouTube社】

これらはいくつかの企業の入社試験の一部です。正解がない、1つではないこともあります。なぜそんな問い合わせを投げかけるか。想定外な場面での冷静な対応力・解決困難な問い合わせに対し、身についた知識を活用した柔軟な思考力・根拠を明らかに聞き手が納得できる表現力を測っているのではないかと推測します。仕事も人生も正解がない、1つではないことばかり。だから、その場その時に全力で知恵を絞り考え、自分を見ることができないから他者に意見を求める協議し、確かめようのない自分の正解を導き出そうとしています。そして、機会あるごとに立ち止まり、今まで振り返り、うまくいかなかったことの理由を見つけ改善策を考え、挑戦の歩みを始めます。第1回定期テストを、これからを考え大事な機会の1つとして捉え、お子様がまた力強く挑戦の歩みを始めるために、お子様と学級担任を中心とした私たちと話し合いを重ねてくださるようお願いいたします。

☆夏休み好学チャレンジ教室の開催☆

6月26日(木)に文書とマチコミメールでお知らせしたとおり、夏季休業中の8月27日(水)と28日(木)に、これまでの学習の復習や定期テストに向けた学習の質問を受けるために、「好学チャレンジ教室」を開催します。
7月22日(火)から始まる保護者面談・三者面談においても、各学級担任からご案内いたします。



7月の予定

1日	火	1年生 校外学習	17日	木	大掃除 部活動がある生徒は弁当持参
3日	木	全校委員会	18日	金	終業式 午前日課
7日	月	職員会議 最終下校14:45	21日	月	夏季休業(~8/31)
16日	水	給食最終日	22日	火	三者面談(3年生) 保護者面談(1・2年生)(~8/1)

スクールカウンセラーの出勤日は、木曜日です。7月は3日(木)と10日(木)です。

9月の予定

1日	月	始業式 避難訓練 最終下校11:40	10日	水	第2回定期テスト 最終下校12:20
2日	火	弁当持参	11日	木	第2回定期テスト 最終下校12:25
3日	水	給食開始	16日	火	東証出前授業(3年生)
6日	土	定期テスト前諸活動停止	22日	月	最終下校15:10
8日	月	職員会議 最終下校14:45	25日	木	全校評議会
			29日	月	生徒会役員選挙 最終下校15:20

スクールカウンセラーの出勤日は、木曜日です。9月は4日(木)と18日(木)と25日(木)です。

空直期間の緊急連絡先について

【夏季休業中の学校の電話対応時間】8:00～16:00(土日祝日を除く)

【夏季休業中の空直期間】8月12日(火)～15日(金)

上記空直期間に学校に連絡が必要な場合は、下記の連絡先にお願いします。

○佐倉市教育委員会学務課 484-6219 (受付時間9:00～17:00)

受付時間以外に、緊急性を要する場合は、

○佐倉市役所代表電話 484-1111 へ連絡するようお願いします。

その際、①学校名 ②学年・名前 ③電話番号を必ず伝えてください。

あくまでも緊急を要する場合にのみ、連絡するようお願いします。

(例年、宿題の確認や忘れ物に関する問い合わせがあるそうです)

○その他、生徒の生命・安全に関わる緊急事態の場合は、曜日や時間を問わず

非常災害用携帯電話(090-8800-7327)へお願いします。

学習指導部より

【 第1回定期テストを終えて 】

第1回定期テストが終わり、テスト結果の個票を6月24日（火）に配付いたしました。結果は、各教科の理解度を把握する良い指標となりますので、お子さまと一緒にご覧になり、それまでの学習に向かう頑張りを振り返っていただきたいと思います。

テストの結果に一喜一憂するのも良いですが、今回のテストを通じて得た学びや成長に目を向けることも重要です。結果が思わしくなかった場合でも、失敗から学び、次へのステップとして活かすことができます。そして、良い結果を得た場合は、努力が報われたことを喜んでほしいです。成功や失敗に関わらず、努力を称賛し続けることで、お子さまの自信を高め、学びへの意欲を育む手助けとなります。お子さまが次のテストに向けて具体的な目標を設定し意欲的に、そして粘り強く学習に臨むことができるようお願いします。



【 進路説明会開催の報告 】

6月25日（金）に3年生と保護者の皆様を対象とした第1回進路説明会を実施しました。当日は、四街道高校と東京学館高校の先生をお招きしてお話を伺いました。また、進路指導主任から、中学校卒業後の進路、入試、体験入学、高校説明会、令和8年度入学者選抜日程について等の説明がありました。

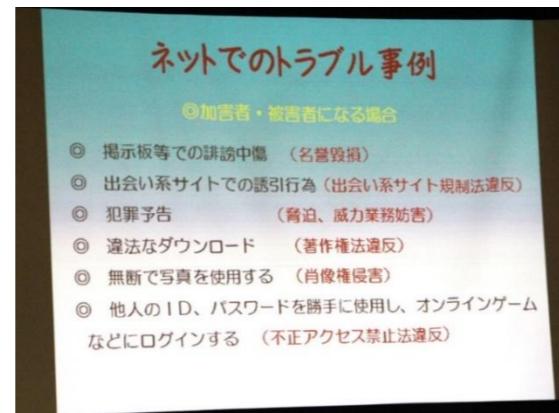
困ったことや悩んでいること、質問がありましたら遠慮なく担任等に相談してください。生徒の皆さんのが最善の道を見つけられるよう、本校の教職員は全力でサポートします。自ら積極的に情報を得て、自分の未来を切り拓いてほしいと思います。

【 好学チャレンジ教室のご案内 】

夏季休業中の8月27日（水）・28日（木）10:15～12:00に、好学チャレンジ教室を開催いたします。

I学期の学習の振り返りや第2回定期テストに向けた補充的な学習、学習のつまづきを解消するための学習支援を行う予定です。申し込みなどに関しては案内文書を配付いたしましたのでご覧いただき、7月15日（火）までにお申し込みください。

学習指導部



令和7年6月2日（月）本校体育館にて、警察の方と北総地区少年センターの方を講師としてお招きし、情報モラル教室を実施しました。スマホやネットの使い方について学ぶことができました。スマホの契約者は保護者です。使い方について、ご家庭でしっかりと約束事をして使用させるようお願いします。

生徒指導部より

【 6月振り返り・7月の目標・情報モラル教室 】

●6月は「話を聞く姿勢をよくする」ことを目標してきました。生徒総会や、定期テストへの取り組みの中で、先生・生徒の話を、しっかりと相手の方を見て聴いている生徒が多く、暑さに負けずに真剣に話を聞く姿勢が身に付いている様子が見られました。

●6月2日（月）に警察の方をお招きし、「情報モラル教室」を実施しました。SNSなどのコミュニケーションツールを使う上でどのような危険があるのか、気をつけてほしいことについての講話をいただきました。すべての学年の生徒が自分のこととして捉えて、真剣に話を聞く姿が見られました。

この講話を受けて、生徒はこれからの生活で気をつけていきたいこととして、「行動宣言」を考えました。各学年の行動宣言から、抜粋したものを紹介します。

【1年生】場所がわかるようなものや、顔を題して写真や動画などをUPしない／スマホを過剰に触らない

【2年生】気軽にLINEを交換しない／メッセージを送るときに相手が傷つかないかをしっかり気を付ける。

【3年生】SNSは全世界に見られている意識をもって利用する／SNSの情報を鵜呑みにしない

各学年の行動宣言をまとめたものを、教室や学年フロアに掲示しています。互いに意識を高めることで、便利と危険がとなり合わせの情報機器やSNSを安全に利用していくようにしてほしいです。

●7月～8月は、「互いが気持ちよく過ごせるような言動を意識させる」ことを目標に掲げています。I学期の終わりを迎えるにあたり、疲労感や急激な気温の上昇から、少しのことでもイライラしてしまうかもしれません、そんなときに心無い一言を発してしまうと、互いに我慢ができないくなり、大きなトラブルに発展してしまいがちです。それぞれが互いの気持ちを考えた言動を日々心掛けることで、そのようなトラブルも未然に防げるのではないかと考えています。

●7月後半からは夏休みに入り、おとな目の目を離れて、生徒のみで活動する場面も増えます。友人同士、SNSでやりとりをする場面も多くなるかもしれません。そのような時に、先ほどの「情報モラル教室」で考えた行動宣言と合わせて、互いのことを考えた言動・発信をしてほしいです。学校でも夏休み前にどのように過ごしてほしいかは伝えてまいりますが、ご家庭でも改めて、折に触れて話題にしていただけすると幸いです。

生徒指導部

